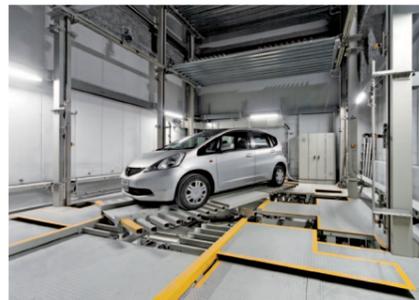


90度旋回・縦列タイプの乗り込み口(動きは下の写真参照)

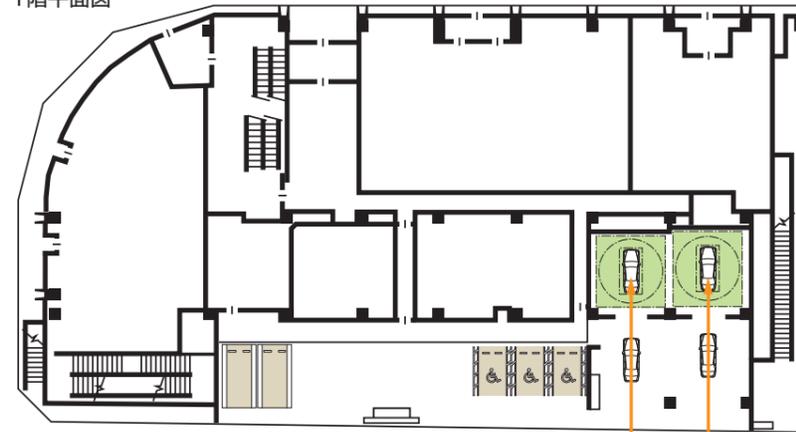


90度旋回したトレーから、フォークリフトで車を取寄棚へ搬送



前面空地を利用した車の格納スペース

1階平面図



一方、地下一階から地上三階までは商業フロアとなり、中国地方の旗艦店と位置づけられたアウトドア用品メーカー、モンベルの大型ショッパなどが入店。また地下一階は前述の「シャレオ」とフラットに接続しており、隣の県庁前駅から地上に出ることなくアクセスが可能です。

広島トランヴェールビルディングは、そんな変わりゆく街のシンボルとして、賑わい創出の新たな拠点となることでしょう。

紙屋町交差点の一角という立地と、連日たくさんの方が訪れる大型複合施設の特長から、広島トランヴェールビルディングのパーキング設備には、省スペース性と高収容性の両立が求められました。そこで選ばれたのが、日精のエレベータ方式「フォーク式」ELパーキングです。

同施設には縦列・前面空地利用型ELパーキングを二基設置。一号機が九十二台、二号機が八十八台の計百八十台収容で、日精がこれまでに扱ってきたパーキング設備で最大級の収容台数を誇ります。

また、万が一地震が発生した場合にも、先進技術を集約した独自の耐震メカニズムが車の落下を防止する高い耐震性も、導入の大きな決め手となりました。日精はこれからも先進の技術力で、快適な街づくりをサポートしてまいります。

### 省スペース性と高収容性を兼ね備えたエレベータ方式「フォーク式」ELパーキング

広島県庁をはじめ、大手企業や商業施設などが集積する広島市のビジネス・商業の中心地、紙屋町。中国地方を代表する繁華街でもある同エリアに今年二月十七日、大型複合施設「広島トランヴェールビルディング」が完成しました。

二〇〇九年八月に着工した本プロジェクトは、「広電ビル」「広電ビル別館」「さくら広電ビル」の建て替えに伴う再開発事業で、プロジェクトマネージャーを務める三井不動産㈱のほかに、広島電鉄㈱・広電不動産㈱・中央三井信託銀行㈱・CMTBファシリティーズ㈱・㈱もみじ銀行ら六社が参加しています。

所在地は、南北の鯉城通りと東西の相生通りが交わる紙屋町交差点。広島電鉄、アストラムライン、広島バスセンターなど各種交通機関の最寄り駅が徒歩二分圏内に点在し、地下には二〇一一年四月にオープンした、南北三百二十五メートル東西三百七十メートルに広がる広島初の地下街「シャレオ」もある、名実ともに「広島顔」といえるスポットです。

四階から十四階までのオフィスフロアは、広島市内では稀少なフロア約三百八十坪、天井高二・八メートルの開放感溢れる空間が魅力。さらに非接触型ICカードキーシステムの採用や二十四時間常駐管理など、充実したセキュリティ機能も備えられています。

外観には、紙屋町交差点に面する北側・西側の二面にガラスカーテンウォールを採用。美しい曲線を描くデザインは、街の風景にやさしく溶け込みながら、洗練された存在感を鮮やかに主張しています。また、直射日光を遮ることによる熱負荷の低減や、高効率照明器具(省エネ対応蛍光灯)・自然調光が可能な照明システムを導入することで消費電力の低減を図るなど、環境に配慮した設計も特徴です。



広島トランヴェールビルディング外観



ビル後方に設置された大規模高収容タイプのELパーキング外観



2基の乗り込み口スペース

### 「広島顔」である紙屋町交差点に誕生した新しいランドマーク

## 広島トランヴェールビルディング

機械式駐車設備 ● 納入事例

- 【建築概要・規模】 ■ 建築主 / 広島電鉄株式会社・三井不動産株式会社  
CMTBファシリティーズ株式会社・株式会社もみじ銀行  
■ 敷地面積 / 2,804.84㎡ ■ 建築面積 / 2,172.59㎡  
■ 延床面積 / 29,787.68㎡ ■ 構造規模 / 地上14階、地下2階  
■ 設計・監理 / 株式会社日建設計  
■ 施工 / 清水建設・日本国土開発・鴻治組共同企業体
- 【駐車設備概要】 ■ 機種 / ELパーキング「エレベータ方式フォーク式」  
■ 型式 / 1号機: DELUSGBF-92MX、2号機: DELULSBF-88MX  
■ 収容台数 / 1号機 特中型乗用車64台、特中型ハイ ルーフ28台、2号機 大型乗用車60台、大型ハイ ルーフ車28台